

令和5年度事業報告

わーくさぽーと阿久和

基本方針に対する 達成状況	チームで支えあう事業所づくりの基本方針のもと、スタッフの個性や考えを尊重しながら、全体で課題に取り組むことで、安定した稼働や支援の継続に繋げることができた。年度後半については、事業所の統合などの影響もあり、事業所の方針変更や複数の職員の離職などもあった。新年度に向けた体制を整える中で、協力体制を築くことができたことは明るい兆しであった。
重点項目に対する 達成状況	・日々の支援を行う中で、管理者やサービス管理責任者からの指示ではなく、ひとりひとりのスタッフが意見を出し合い、考えることでより本人の状態にあった支援を展開することができた。 ・担当を持ちながらもそれぞれが支えあう体制のもと業務を実施したことで強いチームワークの中で、利用者支援を行うことができた
稼働目標に対する 達成状況	・前半期については、欠席した利用者の状況の把握や次の通所機会に繋げる支援を積極的に行うことで、長期欠席の抑制に繋がった。後半については、コロナウィルス感染症の発生や事業所の統合による、利用者の所属変更などが複数あり、登録数・稼働率ともに減少する結果となった。
予算執行状況	・稼働状況については、概ね予算通りの推移で展開することができた。一方で事業活動とりわけ生産活動については、燃料費等の高騰、洗濯業務については衛生基準の見直しなどの影響もあり、収入の減少と費用の増加に繋がる結果となった。
事業およびサービス 目標に対する達 成状況	クリーニング作業等を通じて、正確性や巧緻性が向上し能力の向上につながった。支援についても、それぞれの利用者の状況を注意深く観察する習慣が身につく、利用者にとって負担や不安の少ない支援を展開することができた。 ・就労希望者などにむけては積極的に他事業所への見学や体験に結び付けることができた。就労については実績としてあげることは出来なかったが、利用者に向けて、より多くの選択肢を提示することができた。また、一連の活動を通じて他支援機関や地域の中でのつながりを強く出来たことは、目標のひとつであり今後も継続して展開していきたい。
その他事業計画に 対する達成状況	法定化されている、虐待防止やハラスメント、事業継続計画については計画通りに実施出来ているが、現状の内容がどこまで実態に即したのかについては課題が残り、今後も継続した検討。訓練の積み重ねが必要となる。 ・令和6年5月から新たな職員、運営体制のもとにサービスを展開していくなかで、意識や知識を共有し、より安全なサービス提供を目指していきたい。

月平均稼働

月	定員	稼働目標	稼働実績	備考欄
4月	14人	280人	261人	
5月	14人	280人	256人	
6月	14人	308人	275人	
7月	14人	280人	247人	
8月	14人	308人	272人	
9月	14人	280人	249人	
10月	14人	294人	249人	
11月	14人	280人	240人	
12月	14人	294人	261人	
1月	14人	266人	204人	
2月	14人	266人	149人	
3月	14人	280人	144人	

利用者別の内訳

月	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	その他	備考	合計
4月	7		2	8		1			18
5月	7		2	8		1			18
6月	7		2	8		1			18
7月	6		2	8		1			17
8月	6		2	8		1			17
9月	6		2	8		1			17
10月	6		2	8		1			17
11月	6		2	8		1			17
12月	6		2	8		1			17
1月	6		2	8		1			17
2月	6		2	8		1			17
3月	6		2	8		1			17

年間行事等の報告

4月	ランチ会 事業所10周年のお祝い（法定）建物設備点検
5月	
6月	ランチ会
7月	
8月	ランチ会
9月	防災訓練
10月	ランチ会、恵フェスティバル、（法定）建物設備点検
11月	
12月	ランチ会
1月	
2月	ランチ会
3月	防災訓練